(一社)みやぎ工業会 主催　令和8年度　第65回 新春産学官交流大会　　特別講演会のご案内

地域企業が「知恵と互助」で拓く新時代

令和8年度「知財功労賞」（特許庁長官表彰）受賞

# 知恵と互助が会社を救う

## ～ 倒産危機、震災、事業承継を乗り越えて見えた経営の本質 ～

～ 負債31億円からの再起、震災復興、そして業界の垣根を越えた共創モデルへ ～



講師プロフィール

### 髙橋 昌勝 氏　たかはし まさかつ

産電工業株式会社代表取締役／産電ホールディングス株式会社 代表取締役
みやぎ工業会 理事長／宮城県発明協会会長／宮城県電気工事工業組合理事長

制御システム開発の技術者としてキャリアをスタートし、40代で子会社社長に就任。2008年の民事再生申請という未曾有の危機に際し、事業構造の転換と地域社会からの信頼を糧に、10年計画の債務を4年で完済。 東日本大震災ではインフラ復旧に奔走するとともに、現場ニーズに即した 「ソーラーLED街路灯」 や高齢者見守りシステム「みぃるも」を開発。40年以上にわたり「仙台市泉少年少女発明クラブ」会長として次世代育成にも尽力。令和8年度「知財功労賞」受賞。

### 本講演でお話しする3つの実践テーマ （産学官のリーダーの皆様へ）

| テーマ | 講演の主な内容・視点 |
|---|---|
| 第1章<br>危機と互助 | **地域からの信頼という「無形資産」と、後継者難を救うグループ経営**<br>民事再生時の自治体による再格付けや震災時のインフラ復旧で実感した「互助のスパイラル」社内から社長を輩出し、地域企業10社の技術と雇用を守る産電ホールディングスの持続可能な承継モデルを紐解きます。 |
| 第2章<br>経営と知恵 | **「自社独占」を超えた、現場発の創意工夫と三方良しのビジネス**<br>最先端技術のみに頼らず、既存技術と現場の知恵を組み合わせて地域課題を解決する手法。高齢者・大家・企業の三者に利益をもたらす「みいるも」や、敷居ゼロの社内アイデアコンテストを通じた組織風土改革を語ります。 |
| 第3章<br>産学官共創 | **「組合が稼ぐ」新しい共創の形と、次世代ものづくり人材の育成**<br>少子高齢化時代において、中小企業が単独で抱えきれない案件を組合単位で受注・分担する新たな挑戦。さらに、発明クラブでの40年の指導経験から見る、大学・自治体・産業界が連携してイノベーションの芽を育む土壌づくりを提案します。 |

### 開催概要・お申し込み

対象：みやぎ工業会会員・自治体・大学 産学連携関係者

| | |
|---|---|
| 日時 | 令和9年1月28日（木）15:00～18:40　（第65回 新春産学官交流大会）<br>特別講演　15:05 ～ 16:30 |
| 会場 | TKPガーデンシティ仙台　AER21　（仙台市青葉区中央1-3-1） |
| 参加費・定員 | 8,800円／定員：［200］名（先約） |
| 申込方法 | 申込先　　一般社団法人みやぎ工業会　事務局　（申込締切日令和8年1月14日）<br>フォーム　URL ： https://forms.gle/MTSRM5CNucubdRDB7 |

主催：みやぎ工業会

お問い合わせ：みやぎ工業会 事務局
TEL：022-777-9891／E-mail：　m-indus@miyagi1986.or.jp